

令和7・8（2025-2026）年度複合構造委員会 第4回幹事会 議事録

日 時：令和7（2025）年10月27日（月）14:00～17:00

場 所：大阪工業大学大宮キャンパス9号館2階，「都市デザイン工学科会議室T」，Web併用（Zoom）

出席者：大山委員長，北根副委員長，平幹事長，川端幹事，塩畑幹事，高橋幹事，内藤幹事，中田幹事，中原幹事，中村幹事，橋本幹事，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，山上幹事，山本幹事，横田幹事
（敬称略）（下線：オンライン参加，取消線：欠席）

配布資料：

- 幹4-0 令和7・8年度複合構造委員会第4回幹事会議事次第
- 幹4-1 令和7・8年度複合構造委員会第2回幹事会議事録（案）
- 幹4-2 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹4-3 メール審議事項の報告
- 幹4-4 令和7年度委員会予算執行状況
- 幹4-5 令和7年度土木学会全国大会の報告
- 幹4-6 令和8年度土木学会全国大会について
- 幹4-7 企画について
- 幹4-8 複合構造委員会HPについて
- 幹4-9 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（H001）
- 幹4-10-1 土木学会論文集特集号（複合構造）（H005）
- 幹4-10-2 新ジャーナルについて
- 幹4-11 複合構造の継続教育（H006）
- 幹4-12 300年暴露プロジェクト小委員会報告（H007）
- 幹4-13 20周年記念式典について（H008）
- 幹4-14 出版関連報告
- 幹4-15-1 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹4-15-2 お知らせ-H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会講習会
- 幹4-16 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 幹4-17 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹4-18 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹4-19 H222 複合構造におけるプレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹4-20 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹4-21 H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹4-22 複合構造委員会第2回委員会議事次第（案）
- 幹4-23 親委員会（第2回以降）での報告・発表について
- 幹4-24 小委員会一覧

議事内容：

1. 委員長挨拶

幹事会の開催にあたり、大山委員長より、開会の挨拶がなされた。

2. 複合構造委員会第3回幹事会議事録(案)確認(幹4-1)

中村幹事より、令和7・8年度 複合構造委員会 第3回幹事会の議事録(案)の説明があり、以下を修正することで承認された。

- ・4. メール審議事項の報告の「ISO 関連について複合構造委員会・委員へ意見照会中との報告があった。」について、どこからの依頼であるかを追記すること。
- ・16. (2)H109の「委員長挨拶は・・・」 → 「開会挨拶は・・・」に修正
- ・「12. 複合構造の継続教育(幹3-12) 皆田幹事長より、・・・」の下線部削除
- ・その他、軽微な誤記を適宜修正のこと。

3. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担(幹4-2)

平幹事長より、令和7・8年度 複合構造委員会業務分担について説明があった。

- ・西村幹事の退任に伴い、本幹事会から山上幹事が就任された。
- ・西村幹事が担当されていた業務は、山上幹事が引き継ぐこととなった。

4. メール審議事項の報告(幹4-3)

平幹事長より、メール審議事項報告ならびに追加の審議事項について説明があった。

- ・2026(次)年度事業計画及び予算案を土木学会へ提出した。次年度の行事予定が少ないため、複合構造セミナーを2回実施予定として提出した。
- ・令和7年度田中賞へのご応募のお願いを委員個々に対応を依頼した。
- ・西村幹事(大林組) から山上幹事(大林組) への委員交代について承認された。
- ・谷口 望(日本大学) 委員の委員会辞任の申し入れについて、12/4の親委員会で口頭報告し、12/4付で退任を了承する方向で承認された。

5. 令和7年度予算執行状況(幹4-4)

平幹事長より、令和7年度予算執行状況の報告があった。

6. 令和7年度全国大会・年次学術講演会(共通セッション)(幹4-5)

皆田幹事より、令和7年度全国大会・年次学術講演会(共通セッション、CS6 複合構造物)について報告があった。

- ・口頭発表、ポスター発表ともにトラブルなく実施された。
- ・令和8年度全国大会・年次学術講演会は、9月3日(木)～4日(金)に北海学園大学豊平キャンパスと北海商科大学で開催される予定である。

7. 令和8年度全国大会について(幹4-6)

平幹事長より、全国大会共通セッションテーマの提出について説明があり、例年通りセッションタイトル「複合構造物」として申し込むことを確認した。

8. 企画について（幹4-7）

藤林幹事より、新規委員会、重点研究課題の応募ならびに現場見学会の実施について説明があった。

(1) 新規委員会について

- ・複合構造標準示方書小委員会（H101）の継続小委員会は、斉藤前小委員長と平幹事長で打合せを予定している。別途、適用事例を作成する小委員会の立ち上げを池田委員に依頼しており、年度内に立ち上げる方向（メール審議予定）で検討している。
- ・ずれ止めの委員会については、来年度に立ち上げる方向で進める。
- ・FEM 解析については、複合構造セミナーで事例が欲しいとの意見が出ているので今後検討する。

(2) 重点研究課題の応募について

- ・今年度の重点研究課題への応募は厳しい状況のため、来年度に応募できるよう親委員会や幹事会からのテーマ募集を行い、企画WGにてテーマ案を検討する。

(3) 現場見学会の実施について

- ・現場候補として、NEXCO 西日本の高槻高架橋西の工事概要について説明があった。
- ・見学日は、大山委員長と3月上旬で候補日を複数決めて、現場へ確認することとなった。

9. 複合構造委員会 HP について（幹4-8）

横田幹事より、複合構造委員会 HP の更新箇所について報告があった。

10. 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（幹4-9）

山本幹事および藤林幹事より、第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて説明があった。

- ・最終原稿は66件（土木37件、建築29件）となった。
- ・パネルディスカッションの建築学会との事前打合せを11/10（月）に実施予定である。
- ・補修・補強工法の事例に関する話題提供について、パネリストの選定が難航しており、小委員会メンバー等から事例を収集して藤林幹事で対応する予定である。

11 土木学会論文集特集号（複合構造）（幹4-10-1）

大山委員長より、土木学会論文集特集号（複合構造）について報告があり、10/20に開催された第1回編集小委員会について説明があった。

- ・今年度の特集号では、投稿料を38,500円（税込）に増額する。また、第一著者が非会員の場合は11,000円（税込）を加える。
- ・昨年度の複合構造分の赤字は、土木学会論文編集委員会の予算枠で処理されているのではないかと意見があった。
- ・展望論文は、西崎 到様（H29-30 複合構造委員会委員長）に正式依頼済みである。
- ・小委員会報告は、H101 小委員会（複合構造標準示方書小委員会）、H109 小委員会（複合構造技術の発展に関する調査小委員会）、H220 小委員会（グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会）に執筆を1/末締切で正式依頼済みである。

12. 複合構造の継続教育（幹4-11）

中村幹事より、複合構造の継続教育について、報告があった。

- ・第3回セミナーWG（複合セミナーリハーサル）を10/6（月）に開催した。
- ・10/14（火）に第9回若手技術者のための複合構造セミナーを開催した。
- ・2026/2/10に開催されるカーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（H111）の講習会に関する支援を行っている。
- ・来年度の複合セミナーの開催の時期や内容についてはセミナーWGで検討する。

13. 300年暴露プロジェクト（幹4-12）

平幹事長より、300年暴露プロジェクトの報告があった。

- ・12月頃に小委員会を実施予定であるが、1月のずれ止め実験とあわせて実施することも考えている。
- ・11/27, 28にゴムの試験体の観察を実施予定である。

14. 20周年記念式典（幹4-13）

皆田幹事より、20周年記念式典の報告があった。

- ・小委員会委員（終了小委員会も含め）への案内を連絡先がわかる範囲で小委員会委員長に依頼いただきたいとの要望があった。
- ・11/13土木学会C会議室でH008小委員会とパネルディスカッションの打合せを予定している。
- ・記念式典は、記念誌の発注があるので締切を延ばせないが、祝賀会の締切延長は可能と考えている。

15. 出版関係報告（幹4-14）

中田幹事より、出版関係の報告があり、出版物の販売状況について確認された。

16. 小委員会報告・審議事項

(1) H109：複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹4-15）

平幹事長より、12/3に講習会を実施するとの報告があった。

(2) H111：カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹4-16）

中村幹事より、進捗状況の報告があった。

- ・9/18に幹事会を行いプログラムを検討した。
- ・2026/2/10のパネルディスカッション等の企画について検討中である。
- ・高橋先生（東京大学）の謝金は、H111小委員会で捻出していただくことを確認した。

(3) H220：グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（幹4-17）

平幹事長より、進捗状況について報告があった。

(4) H221：樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（幹4-18）

橋本幹事より、活動の進捗状況について報告があった。

- ・報告書の執筆が予定より遅れており、完成は来年度になる見込みである。

(5) H222：複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹4-19）

中田幹事より、活動の進捗状況の報告があった。

- ・次回小委員会を10/30に予定している.

(6) H223：弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹4-20）

山本幹事より，活動の進捗状況の報告があった.

- ・10/7 に阪和自動車道の境谷橋で実施している床版取替工事の現場見学会を実施した.
- ・次回小委員会は 2026/1/16 を予定している.

(7) H224:AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会（幹4-21）

内藤幹事より，小委員会の準備状況の報告があった.

- ・平幹事長より，中原幹事に参加の意思を確認し，参加する場合は連絡幹事を依頼する.

17. その他（幹4-22, 幹4-23）

平幹事長より，その他の事項として，下記について報告があった.

(1) 第2回委員会の議事次第について

- ・第1回委員会と同様に，小委員会報告を中心とした内容にするが，第2回委員会は小委員会の終了報告を3件と活動中の小委員会報告を4件とする.
- ・報告はいずれもpptを使用し，終了報告は1件20分程度，活動報告は5～10分程度とする.
- ・報告は，連絡幹事から小委員長，幹事長にpptの作成を依頼する．発表は原則，委員長とする.
- ・小委員会報告で，H223小委員会では現場見学会についても報告いただくと良いとのご意見があった.

(2) 親委員会（第2回以降）での報告・発表について

- ・親委員会での報告・発表の候補について確認がなされた.

18. 閉会挨拶

- ・北根副委員長より，閉会の挨拶があった.

以上
(記録：山本将士)